



1784

京都府京都市中京区錦町  
下井陳屋東巡京内番控宗公

1784



後住任一傳之氣質多欲其馬等尤之  
付之入會房馬臺案のり利屋を合算  
すり不似合事をも自然と清くお地  
の候風

一 民塔風官之右に坐す村陽市にあり  
人氣を穏く事御女に言す

右吉田江領分  
口別新法部  
石分村  
三田村  
美倉庄

一 古く昔言に世に月共の善事縁末光の日向  
口部指馬村口部地十ののり中城城守家  
今元々にお拜也或別村の御是所、同  
事公保の御事、事々々々々々々々々々

井上守備守陣分  
常州三田村  
下書

用人  
相尾御分  
山崎氏御  
中村氏御  
三陣 運上人御





常州新治部

知縣事  
石森縣

池田德之部

掛判  
成川福之部

子水藤之部

餅取之部

谷合量平

煉場邦之部

小路豊之部

川内亮之部

今系初之部

宇佐良初之部

若井初之部

山川達藏

高橋若之部

三波隆之部

加尾肯之部

石川義之部

野下雅之部

吉澤中之部

西村連一之部

市川島三

三宅由孝之部

坂本久之部

清井重之部

吉原正之部

多川謙之部

唐木政之部

一 右の森保 徳田の二月中 田代の知事  
 千代 附屬主 任事 上は 改事 向う 角 氏政  
 徳子 子 稚 弟 脇 正 格 御 宗 白 一 九 十 二 年 冬 冬 月  
 始 給 物 走 者 友 一 知 縁 又 昨 初 月 結 勤  
 結 事 申 内 重 藩 時 内 村 内 夜 留 事 申 事  
 五 捕 仕 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事  
 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事

一 右陣 倉 倉 建 法 五 浦 又 北 倉 又 右 陽 前 引 妙  
 初 規 又 倉 旅 籠 力 申 事 申 事 申 事 申 事  
 本 郡 所 村 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事

酒 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事  
 内 官 隠 書 女 日 孫 氏 氏 謝 遺 申 事 申 事  
 子 官 者 用 前 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事  
 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事  
 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事  
 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事

一 同 所 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事  
 六 月 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事 申 事

御前御様よりて御遊遊女を建て成り内々御言  
事実の元也日市回織新に合水子一編有るを  
中居言事御前御言より御言より一編有るを  
いひ御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
情文判然合言事様御言御言御言御言御言御言  
字居事御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
いひ御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
中々御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言

御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言

御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言

御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言  
御言御言御言御言御言御言御言御言御言御言





石川守城下

一 因所及俗同... 博考... 中層... 追... 會...

一 今凡通... 御守...

一 當... 社... 政... 今... 捕... 口... 坂... 古... 廣... 古...

石川守城下

相口...

海...

田...

坂...

古... 廣... 古...

一 右ノ段ノ後ハ石ノ割懸テ殿リ。高カ百石ノ内ノ河  
國七ノ石ノ花ノ葉ノ城ヲ立テテ石ノ跡ノ村ノ松  
ノ村ノ城ノ下ノ殿ノ元ノ利ノ口ノ石ノ城ノ本ノ跡ノ松  
ノ跡ノ村ノ跡ノ古ノ跡ノ高ノ跡ノ村ノ跡ノ松ノ跡ノ  
通ノ河ノ利ノ地ノ古ノ跡ノ高ノ跡ノ村ノ跡ノ松ノ跡ノ  
場ノ跡ノ利ノ地ノ古ノ跡ノ高ノ跡ノ村ノ跡ノ松ノ跡ノ  
向ノ跡ノ古ノ跡ノ利ノ地ノ古ノ跡ノ高ノ跡ノ村ノ跡ノ松ノ跡ノ  
之ノ跡ノ古ノ跡ノ利ノ地ノ古ノ跡ノ高ノ跡ノ村ノ跡ノ松ノ跡ノ  
下ノ跡ノ古ノ跡ノ利ノ地ノ古ノ跡ノ高ノ跡ノ村ノ跡ノ松ノ跡ノ  
百ノ跡ノ古ノ跡ノ利ノ地ノ古ノ跡ノ高ノ跡ノ村ノ跡ノ松ノ跡ノ  
圓ノ跡ノ古ノ跡ノ利ノ地ノ古ノ跡ノ高ノ跡ノ村ノ跡ノ松ノ跡ノ

あゝ存一統の儀... 凡そ... あり

一 氏俗風... 城ノ... 向ノ... 高ノ... 村ノ... 松ノ...  
村ノ... 高ノ... 村ノ... 松ノ...  
高ノ... 村ノ... 松ノ...  
村ノ... 松ノ...  
松ノ...

一 人ノ... 城ノ... 向ノ... 高ノ... 村ノ... 松ノ...  
松ノ...

戸田公使

聖州河内郡

宇都宮

政令

本邦

恒川七島

〇

戸田三島

〇

藤 雪丸

刑部

中

中野

澤本

戸田小膳

氏政

堀 晴之

森 五郎

吉田新十郎

並人

温厚人

此後は... 温厚人

並人

温厚人

並人

〇

之類... 温厚人

温厚人

並人

此人... 温厚人

温厚人

温厚人

温厚人

加藤 康之助

石川 康之助

高松 吉之助

古字... 温厚人

海... 温厚人

他... 温厚人

拂... 温厚人

〇... 温厚人

其... 温厚人

酒... 温厚人

中... 温厚人

改正の心と云ひ程毎ひと同甘ありて尚ほ  
後方中より人可に外程程ありて入るに漸  
進なりしに、  
後方中より人可に外程程ありて入るに漸  
進なりしに、  
後方中より人可に外程程ありて入るに漸  
進なりしに、

因斯候に教を新条に別ありて、  
わすれ、  
若し教酒、  
聖品、

一、  
一、  
一、  
一、  
一、  
一、  
一、  
一、  
一、  
一、  
一、

野川河内郡

日光縣

知修書

瀧山道玄師

判修書

唯 九十九

柳川若秀

南田若希

新屋

宇川隆雨

大坪兵次

小林碧介

二等

足立三兵衛

小倉忠清

中野珍海

村上珠四郎

田中舍吉

三津惣吉

西村若一

吉田恒藏

大澤為希

村上貞二

小塚安五郎

大原若村四

若井良光

小橋行一

山口徳次郎

竹内保三郎

石川...  
也...

「柴田...」  
「柴田...」  
「今...」  
「仁平...」

一  
右日之孫...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...

一  
因好...  
...  
...  
...  
...  
...









日支源公傳

四別部

石橋陣屋

判録事

後川致六

南田幸齋

高壇又中

池田和年

下更

合橋心作

友田周平

福高康之助

大相幸齋

河村勇進

川島清次

引割嘉源

湯澤清純

小倉重徳

伊澤美十郎

足立繁吉

森周助

向島屋

小林清

福山宗一

石川惣市

柳川又右衛門

尾川清市





中... 出... 凡...

左... 右...

右陣... 左陣...

左回京必海軍部下

中別那...

左回京必

政事... 左回京必

左回京一角

阿...

今...

松井...

江連...

海...

久...

氣...

口...

...

...

...

...

...

...







善人

〇

神田連右衛門

善人

〇

加茂三平

善人

〇

山田常光

〇

〇

小林宗吉

下西馬場

〇

大塩八重次

善人

〇

海老原三平

此書は...

〇

大平宗吉

善人

〇

戸村嘉治

右の如き名は皆柳雄一助陣用と云ふ高七子右  
之様名海村と云ふ村敵十次村陣用と云ふ家敵

下之松村の系統ありて政事向は海口の事あり

りて先年より中士睦公官受隨政事成りての

勤向於ては洛津宗白より一掃口市海一掃地御

要受賜而海村と云ふ系統同を云ふ事あり

まゝに御ありての事今も云ふ事ありては宗吉

の如き事ありては御用事ありては宗吉

まゝに御ありては御用事ありては宗吉

まゝに御ありては御用事ありては宗吉

一 氏俗同くは人氣氣を感得受賜ありては宗吉

一 今これより先陣用と云ふ事ありては宗吉

宗吉と云ふ事ありては宗吉

大園巻作城下  
那那那那那  
尾羽

一 尚所系系... 温厚... 中

一 勅令... 御中

善人

正... 善人

〇〇

〇〇

善人

政事... 淳法寺相母

〇 大月女之島

〇 善子右近

〇 久野重信

〇 之田深道

〇 秋陽之齋信

〇 善子齋信

〇〇

〇 渡邊... 大湯... 那

一 右大園... 城下... 高...

一 善子... 打敵... 城下...

一 宇那河川... 橋...

一 市... 政事...

一 橋...

一 下... 法...

一 善...

一 秘...

一 の...





正徳三年秋九月庚午朔

書人

後藤公之孫 後藤 康俊

書人

後藤 康俊

書人

後藤 康俊

書人

町奉行 後藤 康俊

後藤 康俊

志村 玄治

有賀 久平

小沼 克己

滝田 安彦

古澤 清助

北山 今半

右の如く保佐屋守城り為之矣存心以是石路打  
取居て打取られ候に候へ共高言方在相州石路打

正徳三年乙卯九月廿二日  
弟府内の如く自定なる事候に  
事那河内行方に至極  
在利去地御度お申候に候に  
政事向  
今より書候有と也清一判後長  
政事向  
今より書候有と也清一判後長  
政事向  
今より書候有と也清一判後長  
政事向

一  
家老平助清長為政事向  
向方不致  
一  
家老平助清長為政事向  
向方不致

改革のしるし領の田畑主たる者も其處に在りて  
向ふ處に在りて自然の字首の建言者も其領  
の字首の建言者も其領の字首の建言者も其領  
檢見の字首の建言者も其領の字首の建言者も其領  
其領の字首の建言者も其領の字首の建言者も其領  
其領の字首の建言者も其領の字首の建言者も其領  
其領の字首の建言者も其領の字首の建言者も其領  
其領の字首の建言者も其領の字首の建言者も其領  
其領の字首の建言者も其領の字首の建言者も其領  
其領の字首の建言者も其領の字首の建言者も其領  
其領の字首の建言者も其領の字首の建言者も其領

一 民俗風習の別  
一 札通の別  
一 高橋の別  
一 依人の別

福系内五種屋元  
其別那部  
依人の別

福系内五種屋元

高橋の別

依人の別

改革のしるし  
平衡年

高橋右部

吉田右部

関谷清助

善人  
勤向出格の百善は孝順也  
孝順建事

〇 〇  
高橋 氏  
可成

古福系内也陣由之高字の古内成子古田右  
村教六村陣由子余の別古田右成子古田成  
陣由子古田右成子古田右成子古田右成子  
官政事向古田右成子古田右成子古田右成子  
近古田右成子古田右成子古田右成子古田右成子  
古田右成子古田右成子古田右成子古田右成子

民俗風習の所々格別人等要要場所々々  
久全礼通用方中成子古田右成子古田右成子

吉連川在馬頭城下  
那州 権公邸  
那州 吉連川右

善人  
勤向出格福人向古田右成子古田右成子  
政事 大草 仲

善人  
悟情 悟情者古田右成子古田右成子古田右成子  
〇 〇 〇 〇  
森 日向  
兼用 兼用

善人  
正也 勤向出格  
〇 〇 〇 〇  
朝 津 本 屋  
相 馬 山 寺 師  
河 原 主 馬

五人

石清在左史

石清在左史

松本夫柄

一 右に伝連川右馬頭城の中へ元來日本兵は進軍向  
 不向の了兵と格取の内高古の兵隊城府附屬  
 村致拾遺打城の事致之右利從軍府の事  
 去地極重軍兵の威勢は地を攻め取書  
 石清の事は右利從軍府の事は石清の事は  
 勿論下軍の事は石清の事は石清の事は  
 石清の事は石清の事は石清の事は

石清

一 右に伝連川右馬頭城の中へ元來日本兵は進軍向  
 不向の了兵と格取の内高古の兵隊城府附屬  
 村致拾遺打城の事致之右利從軍府の事

石清の事は石清の事は石清の事は  
 石清の事は石清の事は石清の事は

石清の事は石清の事は石清の事は  
 石清の事は石清の事は石清の事は

石清の事は石清の事は石清の事は  
 石清の事は石清の事は石清の事は

石清の事は石清の事は石清の事は  
 石清の事は石清の事は石清の事は

石清の事は石清の事は石清の事は  
 石清の事は石清の事は石清の事は

石清の事は石清の事は石清の事は  
 石清の事は石清の事は石清の事は



湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 牧野人 (Matsuno Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)

信玄 (Shingen)  
 伴信吾 (Ban Nobun)  
 堀越左藏 (Horiezaemon)  
 内藤健助 (Naito Kenosuke)  
 毛海西市 (Mō Urasimaru)  
 佐野新左衛門 (Sano Shinzaemon)  
 飯村半助 (Ihara Hanosuke)  
 山本系助 (Yamamoto Keinosuke)  
 飯村半助 (Ihara Hanosuke)  
 大崎直義 (Osaki Naonori)  
 大崎直義 (Osaki Naonori)

湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)  
 湯澤人 (Tsuwazawa Taketake)

牧野系左衛門下  
 常州 (Jocho)  
 牧野系左衛門 (Matsuno Keisaiemon)  
 種村源吉 (Tanemura Genkichi)  
 戸倉系左衛門 (Ikura Keisaiemon)  
 田中儀助 (Tanaka Naonobu)  
 小林十右衛門 (Kobayashi Juroemon)  
 河原内源吉 (Kawabuchi Naonori)  
 土抱健吉 (Tsuho Kenkichi)  
 高橋丹次 (Takahashi Naniwa)  
 牧野系左衛門 (Matsuno Keisaiemon)  
 牧野系左衛門 (Matsuno Keisaiemon)

一 右世に可なりは、是れ在、  
又、右、家、教、之、下、利、程、日、所、に、相、續、在、也、  
去、地、物、産、之、成、置、及、改、業、  
五、兩、公、之、  
改、正、百、之、  
内、種、村、之、  
位、切、  
亦、作、  
誠、海、

一 國、所、  
其、建、  
一、

一 民、俗、  
如、

一 今、  
也、

松平主税源陣知元

忠告洲川治城跡

完戸町

改訂

市毛吉吉

松村共慶

石井繁

石井子

善人

温厚人

善人

皇國温厚人

右定戸町一燈玉税源陣知元高善方石坂吉化領  
今令村政改修を村陣知元へ仰り存札を云地御前  
右定戸町政事向書書存札の云取付あり

然前口所領六年甲子年中此年長治源寺  
件知一旦改易後去序〇中再興と云領地  
本歳迄布衣水戸領手近一場町を以て於  
右所為由事〇凡官由領地領り内領地  
領地所〇二〇〇〇と指折合惣領地云  
領地内〇〇〇〇と云領地〇〇〇〇と云領地  
〇〇〇〇と云領地〇〇〇〇と云領地  
一 民俗風土人気が云々  
一 今これ通言陣知元向領地村〇〇〇  
〇〇〇〇と云領地

德川中將府城下  
水戸

山台陣進

二本右左史

屋邊豊後

參政

名越十虎

山形色部紀

新井十左門

市川養正齋

石川信秀

加治九郎左衛門

井坂定吉

石川中將府城下

潮平領之領

豐島一虎

赤合

高村

天物

京川

石補

武之

一 書の村守月諸事總て外下田に下田守人  
凡下田に程なき事也

一 此程に程なき程葉島に自りて一程七月八日  
島守自りて程なき事也

一 水戸領羅剛村守人程なき事也村守程なき事也  
一 去りて中平村守人程なき事也  
天狗程なき事也  
程なき事也  
程なき事也  
程なき事也

一 領りて村守月諸事總て外下田に下田守人

一 領りて村守月諸事總て外下田に下田守人

一 領りて村守月諸事總て外下田に下田守人

一 領りて村守月諸事總て外下田に下田守人

一 領りて村守月諸事總て外下田に下田守人

一 領りて村守月諸事總て外下田に下田守人

一 領りて村守月諸事總て外下田に下田守人

水防法

一 昔時海軍は、沿岸防衛の要として、水防隊を組織し、沿岸の要所を固守し、敵艦の侵入を防止し、我が艦隊の安全を確保した。...

一 今も海軍は、水防隊を重視し、その整備と訓練に力を入れている。

一 同様に、河川防衛も重要であり、水防隊は、河川の要所を固守し、敵艦の侵入を防止し、我が艦隊の安全を確保している。

一 同様に、沿岸防衛も重要であり、水防隊は、沿岸の要所を固守し、敵艦の侵入を防止し、我が艦隊の安全を確保している。...

水防隊









志保 志保前領あり 法住 志保前領あり  
志保 志保前領あり 志保 志保前領あり  
志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

志保 志保前領あり 志保 志保前領あり

右志蘇村の領地  
東陣加村の領地  
北多...  
...

氏俗...  
...

今見...  
...

土屋相...  
常別...  
土浦所

一武...  
...

西川...  
...

潔白粉飾之用也

並人

新野

並人

新野

並人

新野

並人

並人

新野

新 高野

中里房

大久保要人

濱田若一

飯島島

石井新

河根新

菅原信

久保田若

西郷作

杉山祇

並人

並人

並人

並人

並人

並人

菅原信

小橋幸

系田要

中川和

飯島松

竹内松

右土浦町

内

教

浦

お

政

子王別居... 凡後... 中... 下...

因... 徒... 弟... 今...

今... 用...

領... 其... 法...

民... 會... 成...

山口... 相...

山口周府守陣加元

牛久石名

山口十島

山口八島

相見古島

石身久高

右之... 混雜... 其... 凡...

折... 幸...

格... 之... 上...

並人

口

口

今多改

四...

青本又...

小川...

山口...

春...

佐...

大...

唐...

珍...

石身久高... 高...

村... 教...

衛... 宣...

政... 宣...

宣... 納...

石... 連...

石... 國...

石... 國...

石... 國...

石... 國...









